

『喜びの協力者』(コリント人への手紙 第二 1 章 24 節) 2022.7.17.

<はじめに> 「一緒に楽しいことをさせてください。」——幼い子どもを前に私が頭を下げて言ったことばです。大したことはできませんが、子どもたちとただ一緒に喜び楽しめたかったのです。神様も、私たちが喜びにあふれることを望んでおられると思いませんか。

I イエスを信じる

①義と認められる

神様は人間を造られました。しかし、人間は神様から離れ、自分勝手に生きようとしてきました。だから、私たちは罪深い者だと聖書は言います。罪とは的外れ、逸脱です。しかし、神様は御子イエス・キリストを信じる者の罪を赦し、正しい者として受け入れると約束されます。

②新しく生まれる

神様はその人の罪を赦すだけでなく、いのちを注いで、その人を新しく生まれ変わらせます。イエス・キリストが私たちの罪のために十字架に架かり、死んで下さった後、よみがえられたように、イエスを信じる人を新しいいのちに歩ませられます。

③神の子どもとされる

神から離れていた人は孤児のようです。罪を赦し、新しく生まれた者を、神様はご自身の家族の一員、子どもとして迎え入れてくださいます。これら 3 つはイエスを信じる者のうちに、同時に神様が成し遂げて、その人を喜びで包んでくださいます。

II 信じる者の喜び

①神とともに歩む

大きな犠牲を払って、私を神の家族に迎え入れてくださったことを知れば知るほど感謝と喜びが湧いてきます。そして、この神様とより一層近く親しくありたいと願うのは自然です。神様が私とともにおられ、私もこの神様とともに歩み、より深く交わることは喜びです。

②御声を聞く

かつては神様に逆らい、離れた時には、神のことばを疑い、重荷と感じ、それに背いていました。しかし、愛し信頼する者のことばに耳を傾けることは、ごく自然なことです。神様は私たちに益になり、喜びとなることをいつも語っておられます。

③応答する

神様から聞いたことにどう応答するかを、神様は楽しみにしておられます。わからないことがあれば、さらに尋ねることもできます。わかったならば、そのことばに従って歩み出します。この具体的な神様とのやり取りを喜び楽しんでいるのでしょうか。

III 喜びの協力者

①分かち合う仲間

神様から聞いたなら、それを他の人にも話したくなります。それを受け留め、確認し、ともに喜ぶ仲間があると幸いです。わからないこと、不安なことも一緒に考えることもできます。そして、互いに励まし合い、神様に従い行く、それが教会の役割です。

②協力者がいる

私たちは一人では完結できません。ですから神の家族として互いに協力し合い、神様が与えてくださった喜びを分かち合い、高め合いたいのです。そうすることで、一人ひとりが受けた喜びが全体に広がります。

<おわりに> 信仰はいのちで、いのちに喜びは伴います。いのちの喜びを一緒に味わい、その素晴らしさを味わい深いものとするために、互いに協力しませんか。(H.M.)